

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			訓練室の広さは運営基準を満たしている。 また、契約日数は、利用定員の旨を保護者へ説明・相談して決定している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			最低人員は満たされている。適切ではあるが人員確保は現在のスタッフの人数では調整が難しい場合もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手すりなどがトイレに設置されている。玄関先には段差もなく車椅子等の移動もスムーズに行えている。
業務改善	④	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務改善が必要な際は、会議(朝礼・終礼)など行っているが、勤務の状況により広く職員が参画するのは難しい場合もある。
	⑤	保護者等向け評価票を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			○	アンケート調査は現在、実施はしていないが、親の会やモニタリングなどで相談や要望などがあった際は、職員間で検討し改善するように努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今回から公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	実行していないが、機会があれば利用したい。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			虐待研修・新任研修などを行っている。職員の「質」となる研修とは？今後の課題でもあり色々な研修を行っていきたい。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		面談(電話・訪問)などを希望があれば行うようにしている。また、支援計画の更新時に聞き取り調査票を記入してもらい、保護者さまのニーズを分析(確認)し作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	使用していないため、アセスメントツールを策定し、活用していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		チームで活動プログラムを行なえるように担当を振り分けてどのイベントにも職員が同じように実施できるように交代制で行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な 支援の 提供	⑫	活動プログラムを固定化しないよう工夫しているか	○			曜日ごとにイベントを決めて保護者さまにも利用のご案内をしている。会議や朝礼・終礼などでイベントの振り返りを行い報告書に記録している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		ホワイトボードを活用し、日々活動(設定)を記録し利用者朝礼時に伝える。個々(年齢)にあった課題等は何が良いか職員同士で話し合いをすることも続けていきたい。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		音楽療法・リトミック・避難訓練・クッキング・レクリエーション(外出などの集団活動)や宿題・制作(コラージュ)・掃除などの個別活動など、年間予定を作成し担当の振り分けも毎月に行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼時に当日利用者の特性や活動について職員間で話し合いを行っている。ホワイトボードを使用し、イベント担当職員・食事介助・引継ぎ事項は記録し確認と声掛けを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			終礼時に当日の利用者の引き継ぎを行うようになっている。休みの職員にはメールにて連絡を行うようにし共有できるように努めている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		○		業務日報や引き継ぎノートに利用者の様子を記録しているが、日々の改善をしっかりと行っているかという点、全職員が徹底出来ていないのが今後の課題。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的なモニタリングは実施している計画の作成にあたり保護者さまとの面談や電話連絡などを行い、見直しの必要性がある場合は職員間でも話し合い検討するようにしている。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		ガイドラインをしっかりと読み、それに伴った支援を今後は行っていきたい。全スタッフが同じ認識を持ち情報の理解と共有に努める必要性があり、今後の課題である。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			担当者会議は相談支援事業所が窓口になっているが、日程を設定するだけでなく、事業所側からのアプローチを積極的に行ない、児発としての役割をしっかりと行うようにしていく。
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか			○	年に一度学校説明会に参加できる時はしている。また、児童の行事を見にいききたい時は保護者さまを通じて確認している。送迎が遅れる際などは学校に連絡するようにしている。
22	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制をとって整えているか			○	医療ケアが必要な利用者の受け入れは現在行っていない。
23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援事業所や区役所、または保護者さまより利用者についての情報などを確認するようにしている。
24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	やくしよ 相談支援事業所などが窓口になっている事も多いが、支援内容について情報を提供することがない。(保護者さまより確認することはある。)
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	げんざい 専門的な機関との情報交換は行っていない。研修などには積極的に参加していきたい。研修の内容を職員間で確認できるように報告の場を会議などで設けていく。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		しょうがい スポーツセンターが実施している運動会や演奏会に参加したことはある。このような交流の場は必要な経験と思われるが事前計画や把握などしっかりと行い遂行したい。

関係機関や保護者との連携

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	②7	ちいきじりつしえん きょうぎかいとう せつきよくてき (地域自立支援)協議会等へ積極的に さんか 参加しているか		○		れんらくかい じっし けんしゅう デイの連絡会を実施している。研修などの あんない せつきよくてき さんか 案内もあるので積極的に参加していく。
	②8	ひごろ こ じょうきょうほごしゃ つた 日頃から子どもの状況を保護者と伝え あ こ はったつ じょうきょうかだい 合、子どもの発達の状況や課題につ いてきょうつうりかい も いて共通理解を持っているか		○		れんらくちよう きろく そうげいじ ほうこく おこな 連絡帳への記録、送迎時に報告などを行 い、また でんわめんだん ほうもん おこな 電話面談・訪問などを行うようにし ている。親の会などでも情報 交換を行って いる。事業所側からのアプローチはまだま だ今後の課題。
	②9	ほごしゃ たいおうりよく こうじょう はか かんてん 保護者の対応力の向上を図る観点から、 ほごしゃ たい 保護者に対してペアレント・トレーニング とう しえん おこな 等の支援を行っているか			○	しえん たいおうりよく けんしゅう さ どんな支援なのか(対応力)ぜひ研修に参 んか いろ かんてん じぎょうしよ 加したい。色々な観点から事業所としてど のようにたいおう していくかなど ひびしよくいんかん 職員間でも考えていく。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③0	うんえいきてい しえん ないよう りようしやふたんとう 運営 規程、支援の内容、利用者負担等 についてていねい せつめい おこな 丁寧な説明を行っているか		○		けいやくじ じゅうようじこうせつめい す 契約時に、重要 事項説明、デイでの過 かた せつめい おこな きろく のこ し方について説明を行い記録として残して いる。説明 不足を指摘されることもあるの で、せつめい ぶそく してき 職員 間で情報 共有と理解を深めて いく。
	③1	ほごしゃ こそだ なや とう たい 保護者からの子育ての悩み等に対する そうだん てきせつ おう ひつよう じよげん 相談に適切に応じ、必要な助言と しえん おこな 支援を行っているか		○		ひつよう じよげん わ 必要な助言がどうかは分からないが相談が あればじよげん ながらたんとうしやかいぎ じっし いろ 担当者会議を実施し色 んなきかん どうしていきのか けんどうで き んな機関でどうしていくのか検討出来るよう にしている。
	③2	ふ ほ かい かつどう しえん ほごしゃかい 父母の会の活動を支援したり、保護者会 とう かいさい とう ほごしゃどうし れ 等を開催する等により、保護者同士の連 んけい しえん 携を支援しているか		○		おや かい ねん かいじっし ほごしゃ 親の会は年に3回実施している。保護者さ まどうし こうりゆう ば こんご ていきてき 同士の交流の場にもなり今後も定期的に じっし 実施していきたい。
	③3	こ ほごしゃ くじょう 子どもや保護者からの苦情について、 たいおう たいせい せいび 対応の体制を整備するとともに、こ ほごしゃ しゅうち くじょう ばあい や保護者に周知し、苦情があった場合に じんそく てきせつ たいおう 迅速かつ適切に対応しているか		○		くじょうじ きろく おこな しよくいんかん ないよう 苦情時は、記録を行い職員 間で内容や かいぜん てん はあく 改善 点を把握できるようにしている。 ほごしゃ しゅうち じょうほうしゆ 保護者さまそれぞれに周知できる情報 手 だん おや かい ほうこくしよ こうとう 段として親の会での報告書や口頭での せつめい おこな 説明も行っている。
	③4	ていきてき かいほうとう はっこう かつどうがいよう 定期的に会報等を発行し、活動概要や ぎょうじよてい れんらくたいせいとう じょうほう こ 行事予定、連絡体制等の情報を子どもや ほごしゃ たい はっしん 保護者に対して発信しているか		○		まいつき かい たよ りようよていひよう スマイル(毎月1回)お便りや利用予定表。 また ブログなどで情報の発信を行って いる。チラシの作成なども行い事業所 内での とく けいごしゃ とも 取り組みを保護者さまにもっと届けていき たい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	35	個人情報に十分注意しているか	○			ブログ・お便りの写真記載については事前に保護者さまに文面にて確認を行っている。契約時に必ず確認するようにしている。パソコンや携帯電話等にはパスワードを設定。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		まだまだ出来ていないと思う。親の会や日々の利用の中で必要な知識や情報を保護者さまに伝えていくようにしていきたい。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			事業所内の行事では夏祭りなどに地域住民を招待することはあった。なかなか現状は治安性もあり難しいように思うが地域清掃や交流などの幅を広げていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアルについては掲示している。職員全員が周知出来るようにするためには日々、自身で確認だけではなくお互いに理解を深める事が出来るように研修などに参加。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的な訓練は実施しているが職員同士のシュミレーションや災害の知識については月1回実施していく必要があると考えられる。研修への参加や勉強を積極的にやりたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に1回虐待研修を実施している。ニュースや新聞(ネット)などを把握し事業所内で虐待につながる行為や発言については職員間でしっかりと声掛けできる環境を引き続き整えたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			個別支援計画書に拘束内容や児童の状況・対処方法について記録し、確認印をもらい了解を得るようにしている。利用時にもしっかりと口頭にて説明を行っているが記録は日々行えているか疑問ではある。

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
④2	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時にアレルギーについては確認を行い、事業所内にアレルギー児童の一覧を掲示している。係りつけの病院等も保護者さまより事前に確認を行い、おやつ時やクッキング時でも確認している。
④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事故ヒヤリハットが起きた際は朝礼や終礼、事業所会議などで原因や対策についても話し合い職員間のグループライン等で連絡や報告を行うようにしている。